

二人の高い芸術性と、マリンバとクラリネットの融合した響きに対する鋭い感性とがこの魅力的なCDにすべて結実している。この音楽は繰り返し聴く価値が充分にある。
(Midwest紙 アルバム《パリンプセスト》レビュー)

Richard&Mika Stoltzman

リチャード&ミカストルツマン

リチャード・ストルツマン(クラリネット)

約50年に渡り、オーケストラに所属すること無く、ソロ・クラリネット奏者として活躍する比類なき存在。2017年には75歳を記念して「コンプリートRCAアルバム・コレクション(CD40枚組)」がリリースされた。

1973年、ピーター・ゼルキンらと室内楽ユニット「タッシ」を結成。ストルツマンの独特な演奏スタイルは国際的に高く評価され、世界各地のオーケストラやアンサンブルに招かれるだけでなく、クラリネット奏者として初めてカーネギーホールでリサイタル・デビュー。武満徹「ファンタズマノカントス」、スティーブン・ハートキ「Landscapes with Blues」、スティーヴ・ライヒ「ニューヨーク・カウンターポイント」などの委嘱作品や世界初演も多数。その才能はジャズにも存分に発揮されゲイリー・バートン、カナディアン・プラス、チック・コリア、ジュディ・コリンズ、スティーヴ・ガッド、エディ・ゴメス、キース・ジャレット、キングス・シンガーズ、渡辺香津美らと共演。これまでに60枚以上のCDをリリース、ヨーヨー・マらとの共演でグラミー賞を二度受賞。

ミカ・ストルツマン(マリンバ)

熊本県天草出身。2008年からニューヨークを拠点に演奏活動を展開し、10回のカーネギーホール(Weill&Zankel Hall)でのソロリサイタルをはじめ、世界21カ国66都市で演奏。チック・コリアより「マリンバ協奏曲」など3曲が捧げられるなど、様々な著名音楽家より楽曲提供を受ける。2014年より夫リチャードとのデュオを本格的に開始し多数の国際音楽祭等に出演。夫妻でのデュオ・アルバム「デュオ・カンタンド」「パリンプセスト」をリリース。自己名義CDアルバムが7枚、スティーヴ・ガッド&エディゴメスとのライブDVDもリリースされていて、スティーヴ・ライヒのCDには編曲演奏が収録されている。クラシックとJAZZを縦横無尽にクロスオーバーするニュー・ジャンルのマリンバ奏者として幅広い演奏活動を展開している。



細川 千尋(ピアノ) Chihiro Hosokawa

富山県出身。幼少よりピアノが大好きで、時間があればピアノに向かっていた。2013年、スイスのモントルー・ジャズ・フェスティバル・ソロ・ピアノ・コンペティションにて、日本人女性初のファイナリストとなる。これまでに、イタリア、スイス、ベルギーでソロ・リサイタルを開催。クロスオーバーなオリジナル曲とトークも交えたコンサートは、高い評価を得ている。

2017年2月大阪交響楽団との熱演を披露、大好評に終わり、1年後に再演。録音では、2014年11月に全曲ソロ・ピアノ・オリジナル作品のデビュー CD『Thanks!』を、2016年2月には2ndアルバム『I'm home!』を発表。2017年11月リリースの『CHIHIRO』では、自身初となるピアノトリオ編成でのレコーディングを行い、同年12月浜離宮朝日ホールにてピアノトリオライブを開催。2019年2月紀尾井ホールにて「モーツァルト・ジャズ」と題し、クラシック曲のジャズ・アレンジを披露し好評を博す。

メジャー・レーベルとしてはビル・エヴァンスの魅力に迫った「My Variations」を2019年9月キングレコードよりリリース。

昭和音楽大学大学院修了。現在、昭和音楽大学附属ピアノアートアカデミーに在籍。江口文子氏に師事。

【お客様へのお願い】

発熱など、体調に不安のある方はご来場をお控えください。

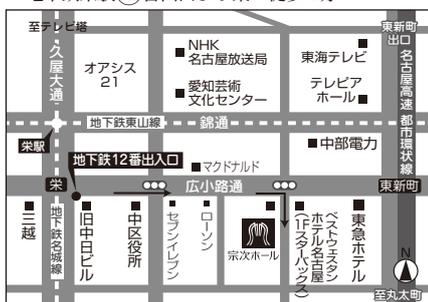
来館時、お手洗い使用後の手洗いや消毒にご協力ください。

館内ではマスクを着用してください。

開場時、お手洗い利用時の整列では間を空けてお並びください。

スタッフの勤務方法と共に、この他にも各感染予防対策を実施いたします。詳しくは、ホームページ www.munetsughall.com をご覧ください。

交通アクセス 地下鉄栄駅⑫番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック



名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsughall.com
URL www.munetsughall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~16:00 不定休